

令和元年度道路整備促進高知県大会 (主催:道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会)

令和元年5月13日、城西館(高知市)において、中谷元衆議院議員、尾崎正直知事、平井秀輝四国地方整備局長をはじめ、ご来賓の方々、会員の市町村長、議会議長などをあわせ200人を超える方々の参加のもと、「令和元年道路整備促進高知県大会」を開催しました。

大会では国土交通省道路局 村山一弥企画課長から、「道路行政を取り巻く最近の情勢について」情報提供いただき、日本製鉄(株)石川雄一顧問からは、「四国8の字ネットワークの早期整備に向けて」と題してご講演いただきました。

その後、四国8の字ネットワーク等の未整備区間の早期解消や、長期安定的に道路整備及び維持管理を進めるための新たな財源の創設、令和2年度道路関係予算の満額確保など、7つの項目を満場一致で採決しました。

大会次第

(1) 開会

(2) 主催者挨拶

(3) 来賓挨拶

- ・衆議院議員 中谷 元 様
- ・高知県知事 尾崎正直 様
- ・国土交通省四国地方整備局長 平井秀輝 様

(4) 来賓紹介

(5) 情報提供

「道路行政を取り巻く最近の情勢について」

国土交通省 道路局 企画課長 村山 一弥 様

(6) 講演

「四国8の字ネットワークの早期整備に向けて」

日本製鉄(株) 顧問 石川 雄一 様

(7) 決議採択

(8) 閉会

主催者・来賓挨拶



会長
池田 洋光

- 平成30年7月豪雨では、高知自動車道上り線の立川橋が流失したが、4車線による整備が完了していたため、被災を免れた下り線を活用した対面通行により早期に通行が再開され、4車線化の有効性を身を持って認識。
- 本県の直轄事業では来年度にかけて4箇所の開通が予定されており、加えて、今年度は四国8の字ネットワークの2箇所が新規事業化され、防災力の向上等に向け大きく前進。

- 道路の整備や維持管理を長期安定的に進めるためには、新たな財源を創設するとともに、安定した予算の確保が不可欠であり、これまで以上に会員が一致団結し、県とも連携を図りながら、全力で取り組んでいく。



衆議院議員
中谷 元 様

- 全ての市町村が願っている道路整備に必要な予算の獲得のためには、皆で力を合わせ地方の声として「道路整備の必要性」を訴えることが大切。
- 全国で痛ましい死亡事故が頻発しており、利用者の安全性確保のための交差点の改良や新技術を駆使した事故防止対策など、対策が必要。
- 車が無いと生活出来ない高知県では、高齢者も安心して道路を利用し、安全に外出できる道づくりが課題。

- 道路整備をしっかりと進め、皆様と結束して高知県と市町村の発展のために努力をしてくので、一緒に頑張ってください。



高知県知事
尾崎 正直 様

- 平成30年7月豪雨では、徳島自動車道や国道32号が高知自動車道の代替路として機能し、6日後には対面通行により通行が再開され、地域の経済活動への影響を最小限に抑えることにつながった。
- 今回の災害を受け、リダンダンシーを確保する重要性を痛感。
- 災害への備えを高め日々の暮らしを守るために必要な道路整備の推進には、新たな財源の創設による安定した予算の確保が不可欠。

- 予算の確保に加え、一般国道や県道、市町村道の整備や維持管理にも、しっかりと取り組んでいく。



四国地方整備局長
平井 秀輝 様

- 平成の時代は本四架橋や四国8の字ネットワークの整備が大きく前進。
- 高知県の四国8の字ネットワークのミッシングリンクの解消が令和時代の宿題。
- 今年度の高知県の直轄道路予算は重要インフラの緊急点検を踏まえた防災・減災、国土強靱化のための3か年計画を含めて前年比1.21倍と大幅に伸び、これから始まる令和時代の大きな弾みとなった。

- 早期の完成に向けて尽力してくので、引き続きご支援、ご協力をお願いします。

情報提供

【道路行政を取り巻く最近の情勢について】



国土交通省 道路局
企画課長
村山 一弥 様

- 今後30年後の維持管理・更新費を推計した結果、事後保全の場合は最大で現在の2.4倍に増加するが、予防保全の場合には最大1.5倍に抑制が可能。引き続き、新技術の活用等による効率化を図り、持続的・実効的なインフラメンテナンスの実現を目指す。
- 地方への支援メニューとして、地域一括発注や、国から移管を受けた橋梁等の大規模な構造物の直轄による診断、補修を行っている。
- 「重要物流道路」の指定によって特車通行許可が不要となる。さらに、「重要物流道路及び代替路・補完路」の指定により、平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保するため、災害時の道路啓開や災害復旧を国が代行できることになる。
- 有料の暫定2車線区間のうち、災害履歴等を踏まえて、特にネットワークが寸断する可能性が高い16箇所を選定し、今年度から4車線化を進めている。
- 全国の主要渋滞対策箇所約9,000箇所のうち地方部が約6割を占めている。渋滞の解消により生産性を高めていくために、直轄国道の2車線区間における渋滞対策を検討している。

講演

【四国8の字ネットワークの早期整備に向けて】



日本製鉄株式会社
顧問 石川 雄一 様

- 7兆円規模の防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策として、老朽化対策を早期に実現するとともに、事前防災対策を計画的に実施することにより、生産性の向上につなげられる。
- 日本の道路総延長は先進国の中でも上位の122万キロあるが、100万キロ以上が市町村道であり、幅員が狭く線形も悪いため都市部でも渋滞が発生するなど、延長の割に整備効果を実感できない状況。
- 道路総延長の約3%に当たる高速自動車国道と直轄国道に大型車の交通が集中しており、私たちの生活に必要な物流の確保には高速道路の整備が不可欠。
- 四国8の字ネットワークの整備率は約7割。整備により四国内の移動時間が短縮し、人口減少が進む中においても人流・物流は増加しており、交流は活発化している。
- 四国8の字ネットワークの構築は、災害対応力の強化、企業立地の促進、観光振興、地場産品の販路拡大等に繋がる。また事業を計画的に行うことで、企業が立地をより計画しやすく、雇用を生み若者の県外流出を防ぐ効果も期待できる。

決議



副会長 岩崎 憲郎

- 決議案を力強く朗読、全会員の賛同により、道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会の決議として採択した。

閉会挨拶



副会長 中平 正宏

- 昨年度には片坂バイパスが開通し、今年度は「大方四万十道路」及び「海部野根道路」が新規事業化された。引き続き、会長をはじめ、会員・各関係機関が一丸となって道路整備の促進に取り組んでいく。

道 全 協
こ う ち

道路整備促進期成同盟会
高知県地方協議会
(事務局:高知県土木部道路課)

